



耐震耐震改修工事事例

NO. 基礎-2

総合評点

改修前 0.48



改修後 1.03

基礎を耐震改修補強した事例

耐震診断の結果、総合評点が0.48のため、『倒壊または大破壊の危険があります』となり、総合評点を1.03にする耐震改修補強工事を実施した事例。

(*工法により施工方法は異なります。)

- 建築年度：昭和51年度
- 改修年度：平成30年度
- 構造/階数：木造2階建
- 延べ面積：約52㎡
- 改修費用：約200万円（消費税込）
- 工事内容の概要
 - 壁耐震補強数：6箇所
 - 基礎補強数：1箇所
 - 柱金物等補強数：24箇所

備考

【お施主様のコメント】

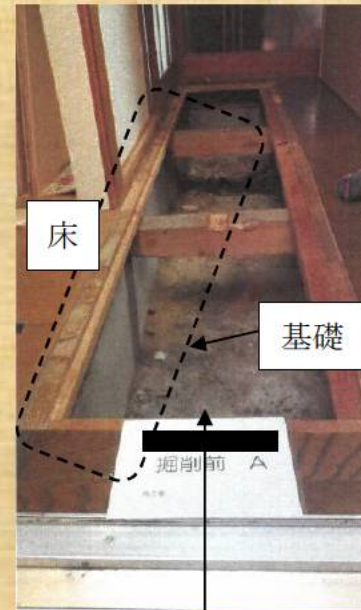
- ・住みながらの工事で音は正直気になりましたが、耐震補強して安心できました。
- ・熟練した職人が手際よく工事してくれました。

総合評点

木造住宅の簡易耐震診断は、地盤・基礎、建物形状、壁の配置（偏心）、筋違、壁の割合（壁量）、老朽度の各項目についてそれぞれの状況により評点をつけた上で、各評点を掛け合わせて総合評点を求めます。総合評点と判定の関係は以下のとおりです。

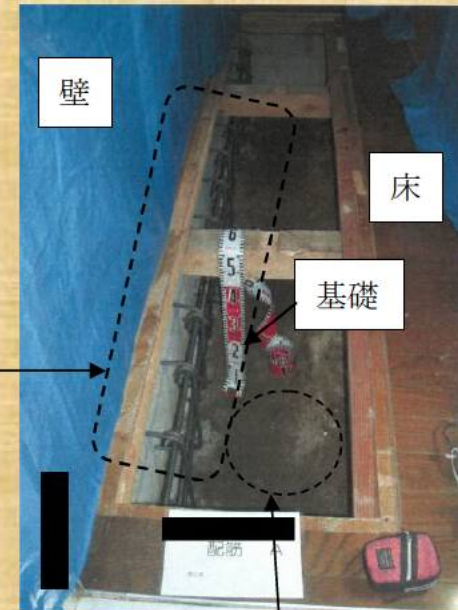
総合評点	判定
1.5以上	安全です
1.0以上1.5未満	一応安全です
0.7以上1.0未満	やや危険です
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

耐震改修工事前の状況 工事順番①



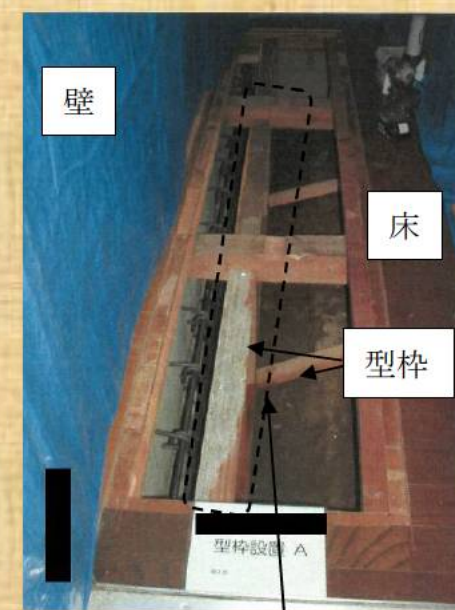
改修概要
基礎補強工事前の状況

耐震改修工事中の状況 工事順番②



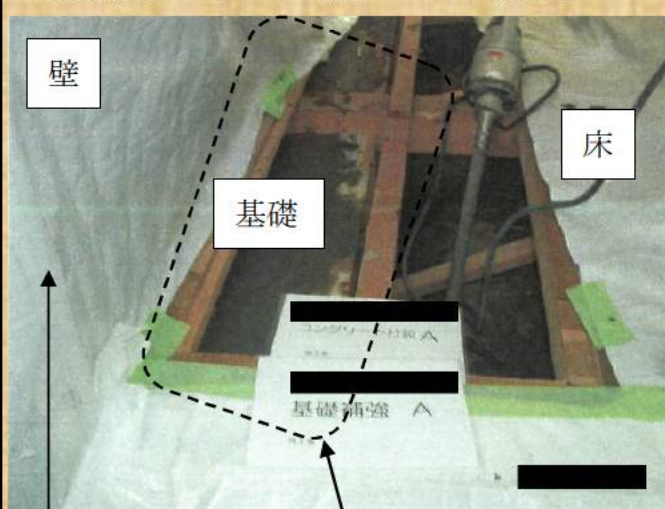
改修概要
所定の深さまで掘削（土を掘る）
配筋の状況

耐震改修工事中の状況 工事順番③



改修概要
型枠を設置している状況

耐震改修工事中の状況 工事順番④



改修概要
コンクリートを打設した状況
工事範囲以外はシートで養生

耐震改修工事中の状況 工事順番⑤



改修概要
型枠を取り外した状況

耐震改修工事完了の状況 工事順番⑥



改修概要
基礎補強工事が完了し、
床仕上げ後の状況